

全建発第6－170号
令和6年11月20日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第711回建設技術講習会（これからのインフラの維持管理・更新）
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙の通り開催いたします。

本講習会は、インフラメンテナンスに関する施策の推進、インフラメンテナンスの人材育成、インフラ現場の魅力の伝え方、新技術を活用した橋梁維持管理の取組、道路管理の瑕疵、地方公共団体におけるインフラメンテナンスの取組、持続可能なインフラマネジメントなどについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

全建発第6－171号
令和6年11月20日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第711回建設技術講習会（これからのインフラの維持管理・更新）
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.7万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、i-Constructionとインフラ分野のDX、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向とi-Constructionの取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第711回建設技術講習会は、インフラメンテナンスに関する施策の推進、インフラメンテナンスの人材育成、インフラ現場の魅力の伝え方、新技術を活用した橋梁維持管理の取組、道路管理の瑕疵、地方公共団体におけるインフラメンテナンスの取組、持続可能なインフラマネジメントなどについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

第 7 1 1 回建設技術講習会のポイント



老朽化するインフラを戦略的に維持管理・更新するために

○開催日：令和7年1月29日（水）～1月31日（金）

○開催場所：高知県高知市

○テーマ：これからのインフラの維持管理・更新

○主な講義内容

- ・インフラメンテナンスに関する施策の推進について、国土交通省本省の講師が解説！
- ・道路管理の瑕疵について、最近の判決例を踏まえ解説（扶桑共栄法律事務所弁護士 細見講師）
- ・道路や橋梁等の維持管理について、新技術や具体の取組事例を紹介！
- ・富山市でのインフラ・マネジメントの実績を踏まえ、これからの課題について考える

（植野インフラマネジメントオフィス代表 富山市政策参与 植野講師）

○現場研修

- ・インフラ整備で活用される圧入工法を実機を交えて見学 技研製作所RED HILL 1967 [株]技研製作所]
- ・桁端部の長寿命化対策、維持管理作業の向上対策を視察 安芸川橋上部工事（安芸道路） [四国地整]
- ・湾口防波堤と防潮堤を組み合わせた「三重防護」 浦戸湾 三重防護対策事業 [四国地整・高知県]

第711回建設技術講習会（これからのインフラの維持管理・更新）概要
～維持管理における最新情報と取組事例及び公物管理を巡る紛争事例について学ぶ～

会場 …… 高知県立県民文化ホール（グリーンホール）

〒780-0870 高知県高知市本町4-3-30 TEL088-824-5321

(1日目) 開場11:40		令和7年1月29日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	高知県知事	濱 田 省 司	
13:00		高知市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	桑 名 龍 吾 秋 山 栄 一	
13:00 }	インフラメンテナンスに関する施策の推進	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課	岩 井 聖	
14:30		企画調整官		
14:40 }	インフラメンテナンスの人材育成と活用	長崎大学大学院工学研究科	高 橋 和 雄	
15:40		インフラ総合研究センター特任研究員・名誉教授		
15:50 }	写真家から見たインフラメンテナンスの現場の魅力	山崎エリナ写真事務所 写真家	山 崎 エリナ	
16:50				
18:00 }	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ＞			
19:30	高知会館3階「飛鳥」			
(2日目) 開場 9:00		1月30日(木)		(敬称略)
9:40 }	道路管理の瑕疵について ～最近の判決例の検討～	扶桑共栄法律事務所 弁護士	細 見 孝 二	
10:40				
10:50 }	新技術を活用した橋梁維持管理の取組	鹿島建設株式会社土木管理本部	池 田 真理子	
11:50		土木技術部リニューアルグループ担当部長		
13:00 }	高知県における道路施設のインフラメンテナンス	高知県土木部道路課課長補佐	宗 光 広 展	
14:00				
14:10 }	【地域事業の紹介①】 新技術を用いたインフラの維持管理・更新	株式会社技研製作所関西営業所	上 岡 亮	
14:30		工法事業部工法推進課長		
14:30 }	【地域事業の紹介②】高知東部自動車道・阿南安芸自動車道の概要及び整備効果	国土交通省四国地方整備局	森 山 崇	
14:50		土佐国道事務所長		
14:50 }	【地域事業の紹介③】三重防護対策事業について	高知県土木部港湾・海岸課課長補佐	高 宮 望	
15:10				
15:20 }	持続可能なインフラマネジメント	植野インフラマネジメントオフィス代表	植 野 芳 彦	
16:20		富山市政策参与		
16:20 }	閉会のあいさつ	高知県土木部副部長	大 野 栄 一	
(3日目) 集合(乗車) 8:10～		1月31日(金)		【現場研修】

はりまや橋観光バスターミナル（8:30）出発
→ 技研製作所RED HILL 1967 [榊技研製作所] → 安芸川橋上部工事（安芸道路）[四国地整]
→ 昼食（高知市内）→ 浦戸湾 三重防護対策事業 [四国地整・高知県]
→ 高知龍馬空港（15:05）／高知駅前（15:45）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第 7 1 1 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 技研製作所RED HILL 1967〔㈱技研製作所〕

…………… 高知県香南市

- ・ 高知生まれの建設技術である「圧入」は、振動や騒音を発生させずに高精度に杭を地中に押し込む建設工法。
- ・ 本施設は、機械や工法、構造物の「実物」を実際に見て体感することができ、言語や文化の壁を越えて、その優位性の理解を促進するために整備された。
- ・ 36,000m²の敷地内に、実証展示場、創造館（世界杭打機ミュージアム）、研究棟等を有する。
- ・ 河川、道路、港湾などのインフラ整備で活用されている圧入工法（圧入機）を、実機を交えて見学する。



2 安芸川橋上部工事（安芸道路）〔四国地整〕

…………… 高知県安芸市

- ・ 安芸道路は、四国8の字ネットワークの一部として整備され、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。
- ・ これまでの開通により、整備区間に併設された緊急避難施設等により地域防災機能が向上、また今後の整備により、津波等の影響を受けずに救急・救命活動や救援物資の供給等を行う緊急輸送道路の確保が期待される。
- ・ 安芸川橋上部工事においては、桁端部の長寿命化対策として、伸縮装置の非排水化、橋座面の排水勾配を確保。また、維持管理作業の向上対策として、支承台座高150mmを確保、桁端部の空間（750mm）を確保している。



3 浦戸湾 三重防護対策事業〔四国地整・高知県〕

…………… 高知県高知市

- ・ 高知市は、高知県全体の人口の約47%の人口が集中しており、浦戸湾周辺では、特に行政機関や学校、病院などの公共施設が多数存在している。
- ・ 今後30年以内に70～80%の確率で発生が予測される南海トラフ地震・津波に備え、地域の安全・安心を守るため、湾口防波堤と防潮堤を組み合わせた「三重防護」による対策を行っている。
- ・ 第1ライン（第一線防波堤…津波エネルギーの減衰、高知新港の港湾機能の確保）、第2ライン（津波防波堤・外縁部堤防等…津波の浸入や北上の防止・低減）、第3ライン（内部護岸等…護岸の倒壊や背後地浸水の防止等）の役割を持ち、発生頻度の高い津波は津波による海水の侵入を防ぎ、最大クラスの津波は、避難時間を稼ぐ対策を行っている。



第 7 1 1 回建設技術講習会【聴講】について

1. 申込方法：以下の専用ページからお申し込みください

https://niccs.nishitetsutavel.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189801

※F A Q及び専用ページ内の「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

次頁 7. お申し込み（入力内容）についてのご注意 もご確認ください。

2. 聴講料：以下の表を参考にご確認ください（金額は税込み）。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
開催県内に勤務	13,700円 ※3	2,100円	2,100円 ※ 2	—
開催県内の市町村に勤務※1	2,100円	0円	—	—
開催地区連合会管内の市町村に勤務 ※1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満	18,800円	2,100円	—	—
開催県内の学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は対象外です

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です

※一般(非会員)／会員の確認をしますので、お間違えのないようにご注意ください。

3. 聴講料の振込

次の銀行口座にお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

(お願い) お振込者名義(協会名等)の前に、開催回数の「711」を付してください。
(例：「711サイタマケン」)

手続き上、不可能な場合はkensyu@zenken.com まで振込日と名義をお知らせください。

なお、聴講料は原則、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を kensyu@zenken.com へ送付してください。

※会場でのお支払いはご遠慮願います。

4. 申込締切：令和6年12月25日(水) 正午まで(必着)

・締切日時以降に行われたお申し込みは受理できない場合がありますので、お申し込み前に必ずご相談の連絡をお願いいたします。

5. 変更・取消：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消の場合は以下の取消料が生じます。

取 消 日	取 消 料
7 日 前～前日	聴講料の 5 0 %
当 日	聴講料の 1 0 0 %

講習会終了後、所属協会等の指定口座へ取消料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消の場合は、取消日に関わらず全額（振込手数料は本会負担）をご返金いたします。

6. その他

- ・テキストは当日受付にてお渡しいたします。
- ・受講証は各日の講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険をお掛けいたします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ（<http://www.zenken.com/>）をご覧ください。

7. お申し込み（入力内容）についてのご注意

（以下の入力についての間違いが多くなっております）

- ・「地方協会＊」欄は、プルダウンの 1）～8）の中から、所属する地方協会等が所在する地区を1つ選択した後、次に表示されるプルダウンで所属機関名を選択してください。
（所属機関が選択肢にない場合のみ、所在する都道府県を選択してください。）
- ・申込者と参加者が異なる場合は、「申込者名／参加者名」欄に表示されている「申込者名（漢字表記）」を「参加者名」に上書きしてください。また、「参加者名（カナ）」欄には参加者名をカタカナで入力ください。
- ・変更・取消の際は、必ず以下まで**メールにてご連絡**ください。
Mail: nishitetsu@zenken.com

8. お問い合わせ先

① 聴講・現場研修の内容等について

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

登録番号：T4010405000433

② 現場研修の申込み

「第 7 1 1 回建設技術講習会【現場研修】について」に記載しています。

③ 宿泊斡旋の申込み

「宿泊斡旋のご案内」に記載しています。

第 7 1 1 回建設技術講習会【現場研修】について

1. 日程：令和 7 年 1 月 3 1 日（金）8:30～15:45

集合（乗車）8:10～

はりまや橋観光バスターミナル（8:30）出発

→ 技研製作所RED HILL 1967 [株技研製作所]

→ 安芸川橋上部工事（安芸道路）[四国地整]

→ 昼食（高知市内）→ 浦戸湾 三重防護対策事業 [四国地整・高知県]

→ 高知龍馬空港（15:05）／高知駅前（15:45）着後解散

※現場研修のみの参加はできません。

※上記行程は都合により変更となる場合があります。

【ご注意】 スーツ・革靴着用の場合、ご参加いただけない現場があります。
当日は必ず動きやすい服装・靴を着用の上でご参加ください。

2. 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行(株)添乗員

3. 現場研修料：10,800円（税込）

※昼食代1,430円（税込）を含みます。行程の都合上、
全員の昼食を用意します。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

4. 申込方法：聴講とあわせて、以下の専用ページからお申し込みください。

https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189801

※FAQ及び専用ページ内の「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。

特に、現場研修料のお支払い方法については、
「操作方法のご案内（P16～）」を必ずご確認ください。

5. 申込締切：令和 6 年 1 2 月 2 5 日（水）正午まで（必着）

・締切日時以降に行われたお申し込みは受理できない場合がありますので、
お申し込み前に必ずご相談の連絡をお願いいたします。

6. 変更・取消：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消の場合は以下の取消料が生じます。

取 消 日	取 消 料
10日前 ～ 8日前	現場研修料の 20%
7日前 ～ 前々日	現場研修料の 30%
前日	現場研修料の 40%
当日	現場研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	現場研修料の 100%

7. 現場研修申込についてのお問合せ：西鉄旅行（株）全建担当デスク
Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325
8. 現場研修の内容等のお問合せ：（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
9. 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店
東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
TEL 03-6742-0325 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com
登録番号：T2290001009530
観光庁長官登録旅行業第579号 （一社）日本旅行協会正会員
10. その他：
- ・スーツ・革靴着用の場合、ご参加いただけない現場があります。当日は必ず動きやすい服装・靴を着用の上でご参加ください。
 - ・ヘルメットの持参は不要です。必要な現場がある場合には全建にてご用意いたします。
 - ・視察資料は現場研修の当日、集合場所にてお渡しいたします。
 - ・参加証は全行程の終了後にお渡しいたします。
 - ・参加者には国内旅行傷害保険をお掛けいたします。
 - ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
 - ・詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

全建講習会 お申し込み方法について（FAQ）

●操作方法を教えてください

基本的な操作方法是、申し込みページのマニュアルをご覧ください。

ご不明な点は、西鉄旅行 全建デスク zenken@nnr-g.com までお問い合わせください。

●システムにアクセスできません／あるページから先に進めません

ご利用環境のセキュリティの問題の可能性があります。可能であればセキュリティレベルを下げる、外部接続可能な端末からアクセスする等の対応をお試しください。

●聴講の申込をしたのに、メールでは支払い金額が0円となっているのはなぜですか

システム上は現場研修料の支払い金額のみ表示されます。聴講料は選択した区分の金額を全建へお支払いください。（参照：第000回建設技術講習会【聴講】について）

●画面上で表示される「お支払い金額」に聴講料が含まれていないのはなぜですか

システム上は現場研修料の支払い金額のみ表示されます。聴講料は選択した区分の金額を全建へお支払いください。（参照：第000回建設技術講習会【聴講】について）

●複数名の申し込みはできますか

地方協会事務局や1名の方が代表してお申込みいただくことが可能です。

1名分の申し込みの後に、ユーザ情報登録確認メールに記載のURL、パスワードを使用してログインし、「新規申込み」を選択すると、複数名の追加申し込みをすることが可能です。

1つのメールアドレスでの申し込みが可能です。申込確認メール等は人数分送信されます。

●職場に個人用メールアドレスがなくても申し込みできますか

個人メールアドレスがない方は、所属先メールアドレス等での申し込みも可能ですが、自動返信される申込確認メール等が他の方に閲覧される可能性があることをご留意ください。私用のメールアドレス及び端末の利用もご検討ください。

●申し込み内容の変更・取消をしたい場合はどうすればよいですか

nishitetsu@zenken.com （全建・西鉄旅行 共用アドレス）までご連絡ください。

開催直前などお急ぎの場合は、まずは西鉄旅行 全建デスク（tel. 03-6742-0325）へお電話をお願いいたします。

●現場研修の支払い方法はどのようなものがありますか

銀行振込・クレジットカード払い・コンビニ払いが可能です。

クレジットカード払い・コンビニ払いの場合は、申込者の手数料のご負担はありません。

●支払い方法について相談させてください

以下までご連絡ください。

聴講料：全建 事業課 kensyu@zenken.com

現場研修料：西鉄旅行 全建デスク zenken@nnr-g.com (tel. 03-6742-0325)

●宿泊の斡旋はどこから申し込みできますか

開催案内ページ内の「宿泊斡旋のご案内」から、西鉄旅行㈱へお申し込みください。

●交流会の参加費はいつどこで支払えばいいですか

現地で聴講の受付時、現金でお支払いいただきます。できるだけお釣りの出ないようにご協力をお願いいたします。

●自分の協会からの参加者を確認するにはどうすればいいですか

お手数ですが全建 事業課 kensyu@zenken.com まで、必要の都度ご連絡ください。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第 7 1 1 回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



(一社)全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和7年1月29日（水） 18:00 ～ 19:30（予定）

場所：高知会館 3階「飛鳥」
（会場及び現場研修集合場所案内図 参照）

会費：2,000円
（受付時にお支払いください）

※都合により、開催を中止とすることがあります。
※参加希望人数によって、開催を中止とすることがあります。

※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込ページの「交流会」欄の「参加する」を選択して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流

②質疑応答など

・参加予定の講師：山崎 氏、細見 氏、宗光 氏、高宮 氏

※都合により変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当

TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

宿泊斡旋のご案内

参加者には、西鉄旅行㈱が開催地ホテルへの宿泊斡旋をいたします。
講習会参加のお申し込みと併せて、下記ページからお申し込みください。

https://niccs.nishitetsutrans.co.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189802

お問い合わせ先：西鉄旅行（株）東京団体支店
全建担当デスク
Mail：zenken@nnr-g.com
TEL：03-6742-0325

申込み後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。